

夢運ぶ虹の架け橋

関越自動車道上越線

設計協議
の
確認書

四地区で調印

関越自動車道上越線建設に伴う設計協議は、昭和五十八年十二月二十六日、日本道路公団より設計原案が町へ示されて以来、今日まで公団との設計協議が続けられてきました。が、通過ルートのうち、天

引、白食、上野、普賢寺の四地区（小幡地区を除く）で、橋杭の設置、側道（橋）、用排水路等が合意に達し、昨年十一月十九日、甘楽町役場において確認書に調印が行われ、いよいよ建設に向けて本格的

に動き始めました。調印式には、田村町長（町建設対策委員会長）、元山日本道路公団高岡工事事務所長、吉田農協組合長（町対策協議会長）らが出席し、側道、付替道路、橋脚構造物、用排水路など、十五項目の設計協議事項をおりこんだ確認書に調印、固い握手を交わし、式を終了しました。今回の確認書調印により、早速四地区で橋

杭の設置、土地の測量などが開始されました。

重要な大動脈

関越自動車道上越線は、首都圏と上信越地方を結ぶ極めて重要な幹線道路であり、地域の産業、経済、文化交流等、その役割は大きく、本町の発展・活性化に役立つものと大いに期待を寄せています。

関越自動車道上越線甘楽パーキングエリア(仮称)完成予想写真



▲ 調印を終え固い握手を交わす元山所長(左)と田村町長(右)